



# 竹林

白河市立五箇中学校だより No.40

発行 令和3年1月22日  
発行責任者 校長 菅野 靖



## 15日にPTA 授業参観を実施

PTA 授業参観を15日（金）に実施しました。新型コロナウイルス感染拡大予防の対策にご協力いただきながら、多くの保護者の方々に授業を参観していただきありがとうございました。そして、授業参観の後にも教育講演会、学年保護者会とご参加いただき本当にありがとうございました。

3年生は、あと2ヶ月半で卒業となりますが、その間に、義務教育で最大の試練である高校入試があります。親としてできる事は、不安や緊張を少しでも和らげるよう配慮することや本人がしっかりと受験対策に取り組めるよう健康管理や学習環境をつくってあげることだと思います。そして、コロナ禍の受験となり感染予防にも気を遣わなければならないと思います。学校としましては、受験の指導だけでなくコロナの感染予防にも徹底し、学習面や健康面で配慮のある対応をしていきたいと思っています。

2年生は最上級生へ、1年生は中堅学年へと進級します。新入生を迎え先輩として後輩の見本となる行動を示し、学校の顔やリーダーとして学校をリードしながら、新しい五箇中学校を作り上げていくことを期待しています。



【1学年 社会の授業】



【2学年 体育の授業】



【3学年 数学の授業】

## 日本ゆめ教育協会 高木 信幸 様による教育講演会を開催

授業参観の後に五箇中学校の多目的ホールにおいて、文部科学省認定の「ゆめ教育プログラム」により、一般社団法人日本ゆめ教育協会の高木信幸様による教育講演会が開催されました。「夢を叶える時間の使い方」という演題で、夢を叶えるポイントについてご講義いただきました。

「夢を忘れないように紙に書き、常に目にするようにすること」や「夢には大小はなく、これから起こる出来事で叶えばわくわくするもの」、「時間＝命であり、時間を無駄にすることは命を無駄にしていること」、「がむしゃらに生きることが応援になる」など心に刻み込まれる言葉を高木様からいただきました。クイズやテンポの良い示唆に富んだ話により、驚きや気づかされることが多く、「夢は叶えられる」という意識の変化や確信を持たれた生徒が多かったのではないかと思います。生徒にとっても保護者の皆様にとっても有意義な講演となりました。運営していただきました教養委員の保護者の方々、大変お世話になりました。



【教育講演会の様子】

## 県中学校校長会のインターネット利用に関するアンケートの結果について

各学年の保護者会の要項に「インターネット利用に関するアンケートの結果」について資料として入れさせていただきます。

資料には、福島県全体の中学校と五箇中学校のデータの比較とインターネット活用に関する課題が載せてあります。五箇中生のインターネットの利用状況は県の中学生の利用状況とほぼ同じです。ただ、気になるのが、五箇中生の休日のインターネットへの接続時間が県の中学生のデータよりも多くなっているところです。文部科学省の「GIGA スクール構想」により、4月から一人一台のタブレットが与えられ、家庭でもタブレットを活用できるようになります。課題としては、家庭でのルールづくりや保護者の意識の温度差の解消、ネット使用の管理環境の徹底が求められます。今後、学校からタブレットの使用規程をお知らせするようになるかとは思いますが、ご家庭でも大人が子供を守るべき対策を具体的に講じることが大切です。スマートフォンの使い方も含め、インターネットの利用について、ご家庭でもお子さんと話し合う良い機会にしていだければと思います。